

第117号議案

神戸市立中学校に係る地域クラブ活動の推進に関する条例の件

神戸市立中学校に係る地域クラブ活動の推進に関する条例を次のとおり制定する。

令和8年2月17日提出

神戸市長 久元喜造

神戸市立中学校に係る地域クラブ活動の推進に関する条例

(目的)

第1条 この条例は、生徒の健やかな成長に大きな役割を果たしてきた中学校部活動の教育的意義を継承し、及び発展させた地域における生徒のスポーツ・文化芸術活動その他の体験活動を総合的に推進し、生徒の地域における多様な体験や世代間の交流を通じた活動を市民の参画を得ながら促進するとともに、その推進に当たって必要となる経費の財源に充てるための基金について必要な事項を定めることにより、次代を担う生徒の豊かな人間性の涵養及び活力ある地域社会の形成に寄与することを目的とする。

(定義等)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) コベカツ 中学校部活動の教育的意義を継承し、及び発展させた生徒の地域クラブ活動（地域における生徒のスポーツ・文化芸術活動その他の体験活動をいう。以下同じ。）であって、次条第1項の承諾を得て団体が実施するものをいう。
- (2) 中学校 神戸市立中学校及び神戸市立義務教育学校後期課程をいう。
- (3) 生徒 中学校及び神戸市立特別支援学校中学部の生徒をいう。

(コベカツの実施)

第3条 地域クラブ活動をコベカツとして実施しようとする団体は、教育委員会に申し込み、その活動の実施について、あらかじめ承諾を得なければならない。

2 教育委員会は、前項に規定する承諾をするに当たっては、次の各号に定める基準によるものとする。

- (1) 生徒の豊かな人間性の涵養及び自己実現を目指し、生徒の主体性を尊重すること。
- (2) 単なる技術の習得のみならず、社会の一員としての責任感及び規範意識を育むものであること。
- (3) 生徒の心身の健全な発達に配慮し、過度な負担を強いるものではないこと。
- (4) 誰もが等しく活動に参加できるよう、活動に要する経費が適正かつ合理的であり、営利を目的としないこと。
- (5) 適切な安全管理、指導体制及び運営体制が継続的に確保されること。

(コベカツクラブの役割)

第4条 コベカツクラブ（コベカツを実施する団体をいう。以下同じ。）は、コベカツの実施を通じた生徒の健全な育成、地域社会への貢献並びに実施するコベカツの継続及び充実に努めなければならない。

2 コベカツクラブは、コベカツの実施に当たり、生徒の発達の個人差や生徒の成長期における心身の状態に応じて適切に指導を行うものとする。

3 コベカツクラブは、コベカツの実施に当たり、教育委員会及び中学校に活動状況等を共有するなど適切に連携するものとする。

4 コベカツクラブは、コベカツの実施に当たり、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) コベカツの実施における安全の確保及び事故の防止のための措置
- (2) 体罰、暴言及びハラスメントの発生防止のための措置
- (3) 前2号に定めるもののほか、適正なコベカツの実施に必要があるものとして教育委員会が別途定める事項の遵守

(市の役割)

第5条 市は、コベカツに対する市民の積極的な参画を図るために必要な措置を講じるものとする。

2 市は、生徒が主体的にコベカツを選択し、安心して活動に参加できるよう環境整備に努めるものとする。

(教育委員会の役割)

第6条 教育委員会は、コベカツの総合的な推進に必要な施策を実施するものとする。

2 教育委員会は、生徒に幅広い活動の機会を提供するため、必要に応じて、第3条第1項に規定する申込みを受け付けるものとする。

3 教育委員会は、コベカツクラブに対し、当該コベカツクラブの活動状況を確認するとともに、必要に応じて、指導・助言を行うものとする。

4 教育委員会は、コベカツクラブがコベカツを実施するに当たっては、中学校の施設を利用しやすいように必要な配慮をしなければならない。

(中学校の役割)

第7条 中学校は、当該中学校の生徒のコベカツへの参加状況の把握に努めるとともに、必要に応じて、当該中学校の生徒に対してコベカツに関する情報提供を行うものとする。

2 中学校は、当該中学校の生徒が参加するコベカツを実施するコベカツクラブから、必要に応じて、当該生徒に関する活動実績の報告を求め、指導又は助言を行うものとする。

3 中学校は、当該中学校の施設を使用して実施されるコベカツに支障が生じないよう、同施設を適正に管理しなければならない。

(財政上の措置)

第8条 市長は、コベカツの総合的な推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置を講じるよう努めるものとする。

(基金の設置)

第9条 コベカツを総合的に推進するため、コベカツ支援基金（以下「基金」という。）を設置する。

(基金の積立て)

第10条 基金として積み立てる額は、次に掲げる額とする。

(1) 市民、事業者等が前条に規定する市のコベカツの総合的な推進に対して行う寄附金額及び市長が基金への積立てを適当であると認める寄附金額

(2) 基金の運用から生ずる収益の額。ただし、第12条第3項の規定により積み立てる場合に限る。

(3) 前2号に掲げるもののほか、予算で定める額

(基金の管理)

第11条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

2 基金に属する現金は、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。

(基金の運用益金の処理)

第12条 基金の運用から生じる収益は、予算に計上しなければならない。

2 前項の収益は、基金設置の目的を達成するための経費に充てるものとする。

3 第1項の収益は、前項の規定にかかわらず、基金として積み立てができる。

(基金の処分)

第13条 市長は、第9条に規定する基金設置の目的を達成するため、必要があると認めるときは、予算に定めるところにより、基金に属する現金の一部を処分することができる。

(施行細目の委任)

第14条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則又は教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第4条及び第7条の規定は、令和8年9月1日から施行する。

(準備行為)

2 中学校は、この条例の施行の日前においても、この条例の実施のために必要な準備行為をすることができる。

理 由

神戸市立中学校に係る地域クラブ活動を推進し、及び推進のための基金を設置するに当たり、条例を制定する必要があるため。